

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	ソフト事業	1次評価のみ対象分
------	----	----	------	-------	-----------

事業名	コード	名称	区分	コード	名称
185		消費者行政事務経費	会計	01	一般会計
基本施策	13	環境にも家計にもやさしい消費生活を普及させる	款	02	総務費
			項	01	総務管理費
施策	1	情報および学習機会の提供	目	21	諸費
			細目	104	消費者行政事務経費
細々目			01		消費者行政事務経費
基本計画該当頁	89	担当部課	コード	522000	評価者氏名
行革大綱の重点事項番号		名称		伊賀支所 生活環境課	川本 哲
					連絡先 45 - 9104 (内線) 220

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
	地域住民 (対象件数)	消費知識の普及啓発、情報提供される。
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
本年度事業内容	防災行政無線による情報提供、啓発活動を随時実施。地区委員さんを通じて、啓発用パンフレットを配布、回覧。	状況変化等

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	人 千円
委託先	
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
消費者相談受付件数	件	目標 5	目標 4	3	3
窓口TELでの相談受付等		実績 3	実績 5		
消費者研修、講演会開催参加数	人	目標 50	目標 40	40	40
		実績 28	実績 76		
啓発用パンフレット配布回数	回	目標 2	目標 2	2	2
		実績 2	実績 2		
		目標	目標		
		実績	実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
啓発パンフレットの配布回数		回	目標 2 実績 2	目標 2 実績 2	2	2
			目標 実績	目標 実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	市民に対する情報提供や啓発用パンフレット等の配布など啓発活動を引き続き行う必要がある。
有効性	3	社会福祉協議会との連携強化を図り、消費者相談業務の充実を図る必要がある。
達成度	3	おおむね計画どおり達成できた。
効率性	4	本庁予算に統一することによりコスト削減の余地がある。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	消費者トラブルは、年々増加の傾向にあり、被害も巧妙化している。それに伴い、消費者相談が増加している。相談に対応できる職員の知識と能力を向上させる研修等が必要である。

進捗状況	年度	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)
委託	工事	需用費		16	需用費		21	需用費		11	需用費		11
		事業費計(A)		16	事業費計(A)		21	事業費計(A)		11	事業費計(A)		11
進捗率(%)													
事業投入人員		人員費(B)	0.1	人	720	人員費(B)	0.1	人	720	人員費(B)	0.1	人	720
フルコスト(A)+(B)				736			741			731			731

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費				
Aの財源内訳	国庫支出金		16		21
	県支出金				
	地方債				
	受益者負担				
	その他				
	一般財源		16		21
計		16		21	11
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等				